

鋁工業指數參考図表集  
(2022年2月速報)

2022年3月31日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 2022年2月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	95.8	92.7	101.3	118.8
前月比	0.1%	-1.3%	1.9%	3.0%
指数水準	2021.12 96.5以来 I 2017.12 105.8 II 2018.10 105.6 III 2018.3 105.1	2021.10 88.7以来 ①2020.5 75.9 ②2020.6 81.1 ③2020.4 84.1	2020.5 102.6以来 I 2020.1 105.9 II 2020.3,4 105.1 III 2019.6,2020.2 104.4	2021.10 119.2以来 I 2020.5 150.5 II 2020.6 138.3 III 2020.4 137.6
前月比の動き	3か月ぶり+ (2021.11以来)	2か月連続- (2022.1~当月)	2か月ぶり+ (2021.12以来)	5か月ぶり+ (2021.9以来)
前月比幅	2021.11 7.0%以来 I 2021.11 7.0% II 2020.7 6.9% III 2021.6 6.5%	2022.1 -1.6%以来 ①2020.4 -10.3% ②2020.5 -9.8% ③2021.9 -6.1%	2021.11 2.0%以来 I 2021.9 3.4% II 2017.10 2.9% III 2018.3 2.6%	2021.9 5.5%以来 I 2020.4 13.3% II 2020.5 9.4% III 2014.4 7.4%
前年同月比(原指数)	0.2%(92.8)	-1.7%(89.9)	7.3%(102.0)	8.2%(124.3)
前年同月比の動き	2か月ぶり+ (2021.12以来)	2か月連続- (2022.1~当月)	6か月連続+ (2021.9~当月)	6か月連続+ (2021.9~当月)
前年同月比幅	2021.12 2.7%以来 I 2021.6 23.0% II 2021.5 21.1% III 2021.4 15.8%	2021.10 -5.6%以来 ①2020.5 -27.5% ②2020.4 -17.0% ③2020.7 -16.8%	2015年基準最高水準 I 2022.2 7.3% II 2014.11 7.0% III 2014.12 5.9%	2020.8 13.9%以来 I 2020.5 43.5% II 2020.4 29.7% III 2020.6 23.9%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 2022年2月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は持ち直しの動きがみられる」

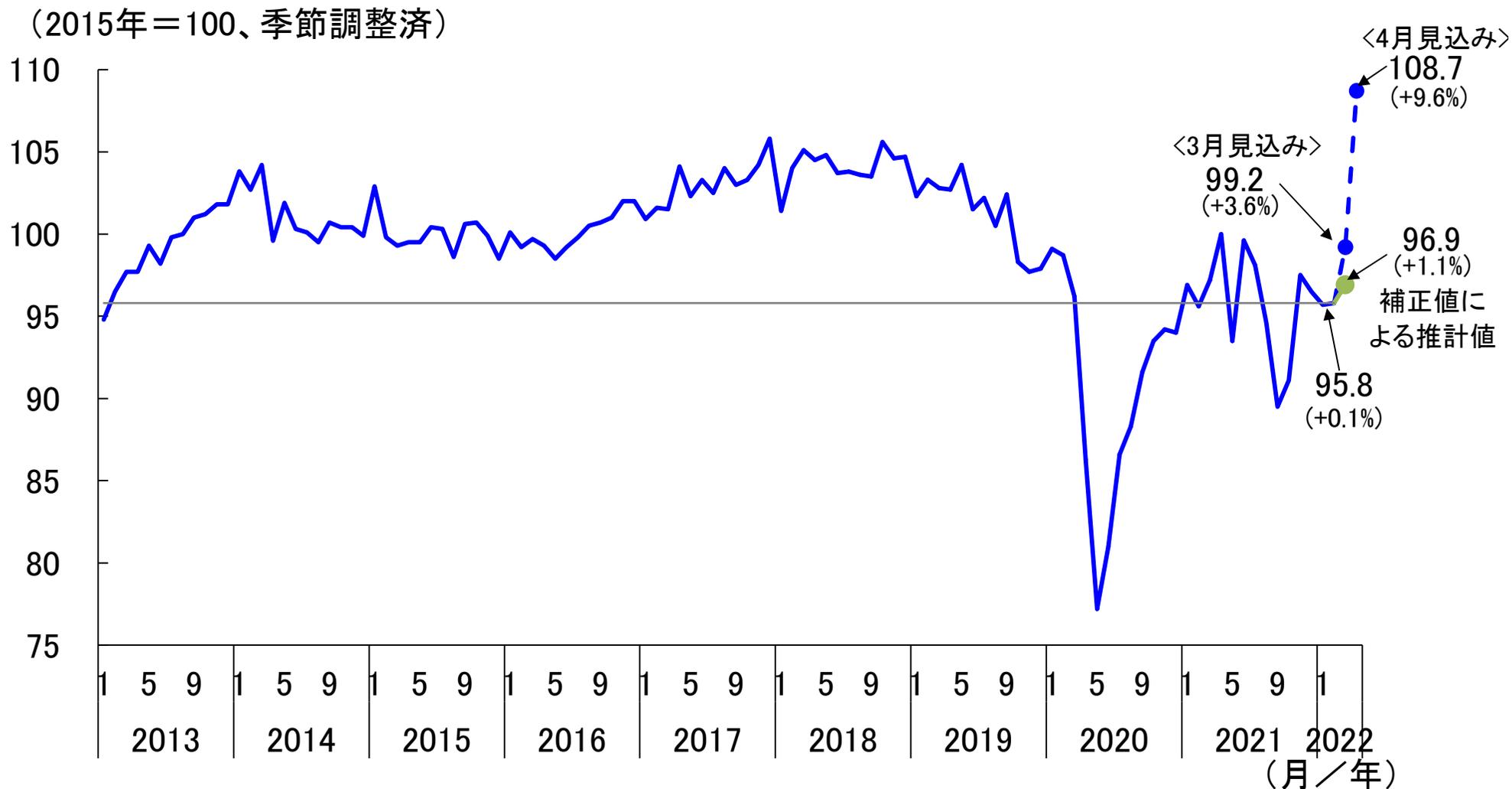
### 基調判断の推移

- ・ 2018年1月～6月 (↓) 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・ 2018年7月～9月 (↓) 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・ 2018年10月～12月 (↑) 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・ 2019年1月、2月 (↓) 「生産は足踏みをしている」
- ・ 2019年3月 (↓) 「生産はこのところ弱含み」
- ・ 2019年4月～7月 (↑) 「生産は一進一退」
- ・ 2019年8月、9月 (↓) 「生産はこのところ弱含み」
- ・ 2019年10月～12月 (→) 「生産は弱含み」
- ・ 2020年1月、2月 (↑) 「生産は一進一退ながら弱含み」
- ・ 2020年3月 (↓) 「生産は低下している」
- ・ 2020年4月、5月 (↓) 「生産は急速に低下している」
- ・ 2020年6月 (↑) 「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
- ・ 2020年7月 (→) 「生産は持ち直しの動き」
- ・ 2020年8月～2021年7月 (↑) 「生産は持ち直している」
- ・ 2021年8月～10月 (↓) 「生産は足踏みをしている」
- ・ 2021年11月～ (↑) 「生産は持ち直しの動きがみられる」

(注) 「↑」前回の基調判断から上方修正、「↓」前回の基調判断から下方修正、「→」表現変更

# 鋳工業生産指数の動向と先行き

・ 2022年2月の鋳工業生産指数は、95.8(前月比0.1%)と3か月ぶりの上昇。



(注) 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標

(注) 補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鋳工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの

# 2022年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2022年2月の鉱工業生産指数は、95.8（前月比0.1%）と3か月ぶりの上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	10.9%	1.42%pt
	品目	普通乗用車	8.1%	0.37%pt
		小型乗用車	35.1%	0.26%pt
	2位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	7.9%	0.13%pt
	品目	航空機用発動機部品	85.3%	0.14%pt
		航空機用機体部品	9.6%	0.01%pt
	3位の業種	汎用・業務用機械工業	1.2%	0.09%pt
品目	コンベヤ	44.5%	0.15%pt	
	圧縮機	19.2%	0.04%pt	
鉱工業生産を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）	-9.6%	-0.41%pt
	品目	合成洗剤	-23.7%	-0.16%pt
		仕上用化粧品	-20.7%	-0.08%pt
	2位の業種	無機・有機化学工業	-2.5%	-0.11%pt
	品目	ポリプロピレン	-8.1%	-0.02%pt
		プロピレン	-7.2%	-0.02%pt
	3位の業種	その他工業	-0.9%	-0.06%pt
品目	平版印刷（オフセット印刷）	-2.0%	-0.03%pt	
	工業用ゴム製品	-2.9%	-0.01%pt	

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
（記載から外す品目例）鉄道車両、製材 等

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 2022年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

## <全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	普通乗用車	8.1%	0.37%pt
	2位	小型乗用車	35.1%	0.26%pt
	3位	リチウムイオン蓄電池	41.6%	0.18%pt
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	合成洗剤	-23.7%	-0.16%pt
	2位	金型	-22.5%	-0.15%pt
	3位	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-42.6%	-0.15%pt

## <財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	生産財	1.0%	0.52%pt
		リチウムイオン蓄電池	41.6%	0.18%pt
		航空機用発動機部品	85.3%	0.14%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	5.8%	0.43%pt
		普通乗用車	8.1%	0.32%pt
		小型乗用車	35.1%	0.26%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.3%	-0.07%pt
		エレベータ	-16.7%	-0.07%pt
		橋りょう	-28.1%	-0.04%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-2.1%	-0.31%pt
		金型	-22.5%	-0.15%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-42.6%	-0.15%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-2.8%	-0.54%pt
		合成洗剤	-23.7%	-0.16%pt
		仕上用化粧品	-20.7%	-0.08%pt

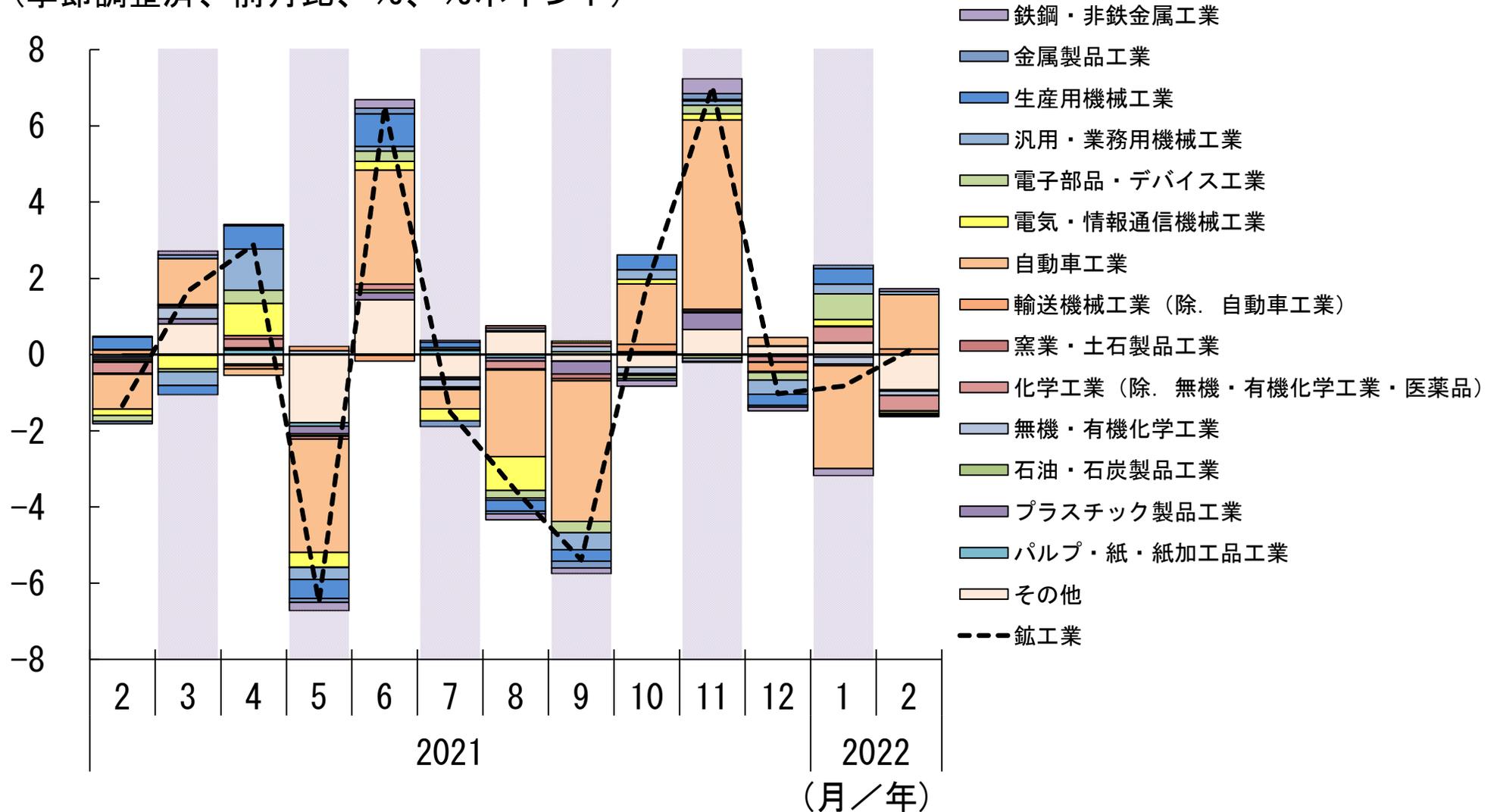
※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
(記載から外す品目例) 鉄道車両、製材 等

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2022年2月の生産指数は、化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）などが低下したものの、自動車工業などが上昇したため、前月比0.1%の上昇。

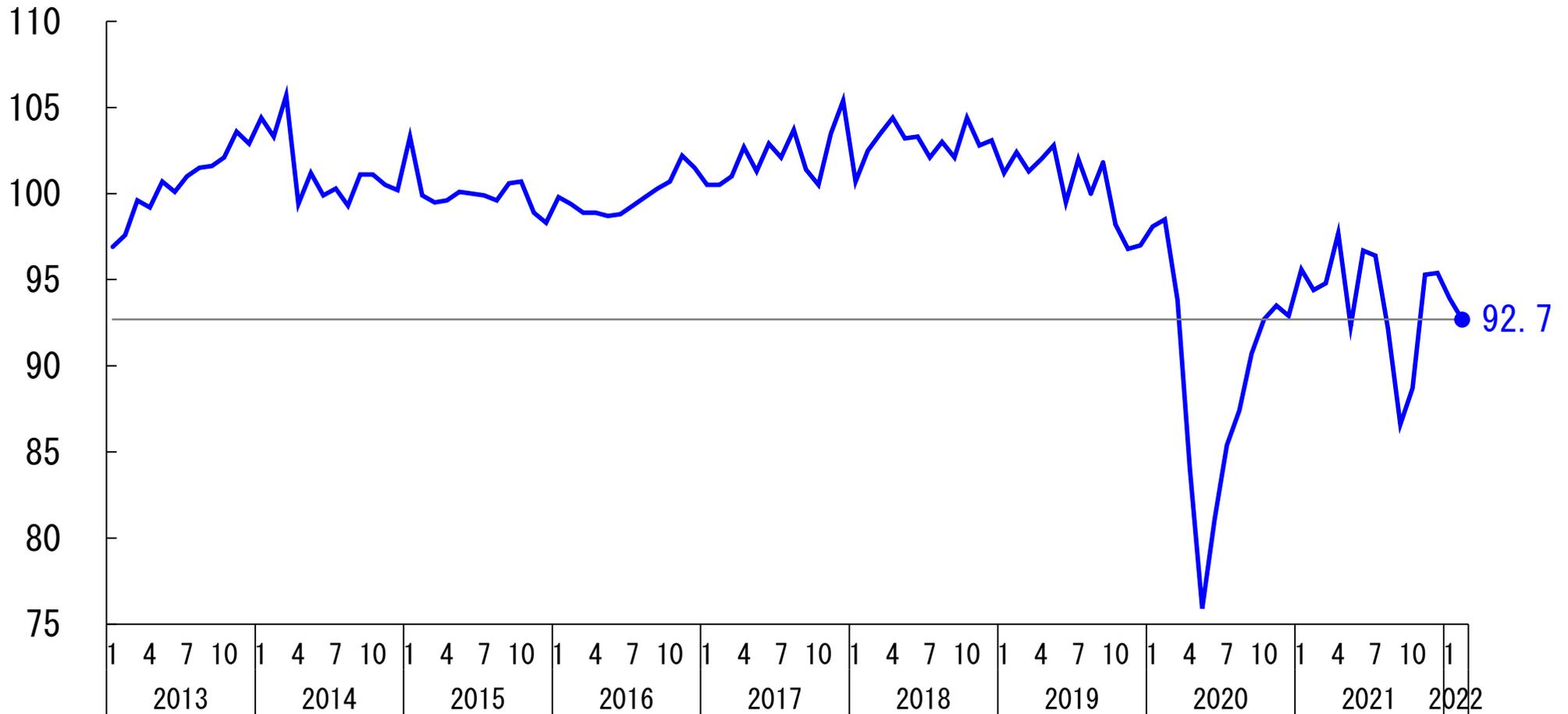
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 鉍工業出荷指数の動向

・ 2022年2月の鉍工業出荷指数は、92.7(前月比-1.3%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



(月／年)

# 2022年2月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2022年2月の鉱工業出荷指数は、92.7(前月比-1.3%)と2か月連続の低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業出荷を <b>低下</b> 方向へ引っ張った3業種の中で <b>低下</b> への影響度が大きい2品目	1位の業種	石油・石炭製品工業	-5.1%	-0.32%pt
	品目	軽油	-12.8%	-0.16%pt
		ガソリン	-4.8%	-0.12%pt
	2位の業種	生産用機械工業	-2.6%	-0.21%pt
	品目	金型	-22.9%	-0.10%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-25.2%	-0.08%pt
3位の業種	電気・情報通信機械工業	-2.5%	-0.19%pt	
品目	外部記憶装置	-47.1%	-0.07%pt	
	X線装置	-30.0%	-0.07%pt	
鉱工業出荷を <b>上昇</b> 方向へ引っ張った3業種の中で <b>上昇</b> への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	4.1%	0.59%pt
	品目	普通乗用車	3.2%	0.18%pt
		小型乗用車	15.7%	0.15%pt
	2位の業種	汎用・業務用機械工業	1.9%	0.12%pt
	品目	コンベヤ	60.6%	0.13%pt
		汎用内燃機関	15.6%	0.08%pt
3位の業種	その他工業	1.4%	0.08%pt	
品目	時計	18.6%	0.01%pt	
	特殊車両用タイヤ	6.3%	0.01%pt	

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
(記載から外す品目例) 鉄道車両、製材 等

寄与度：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

## 2022年2月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

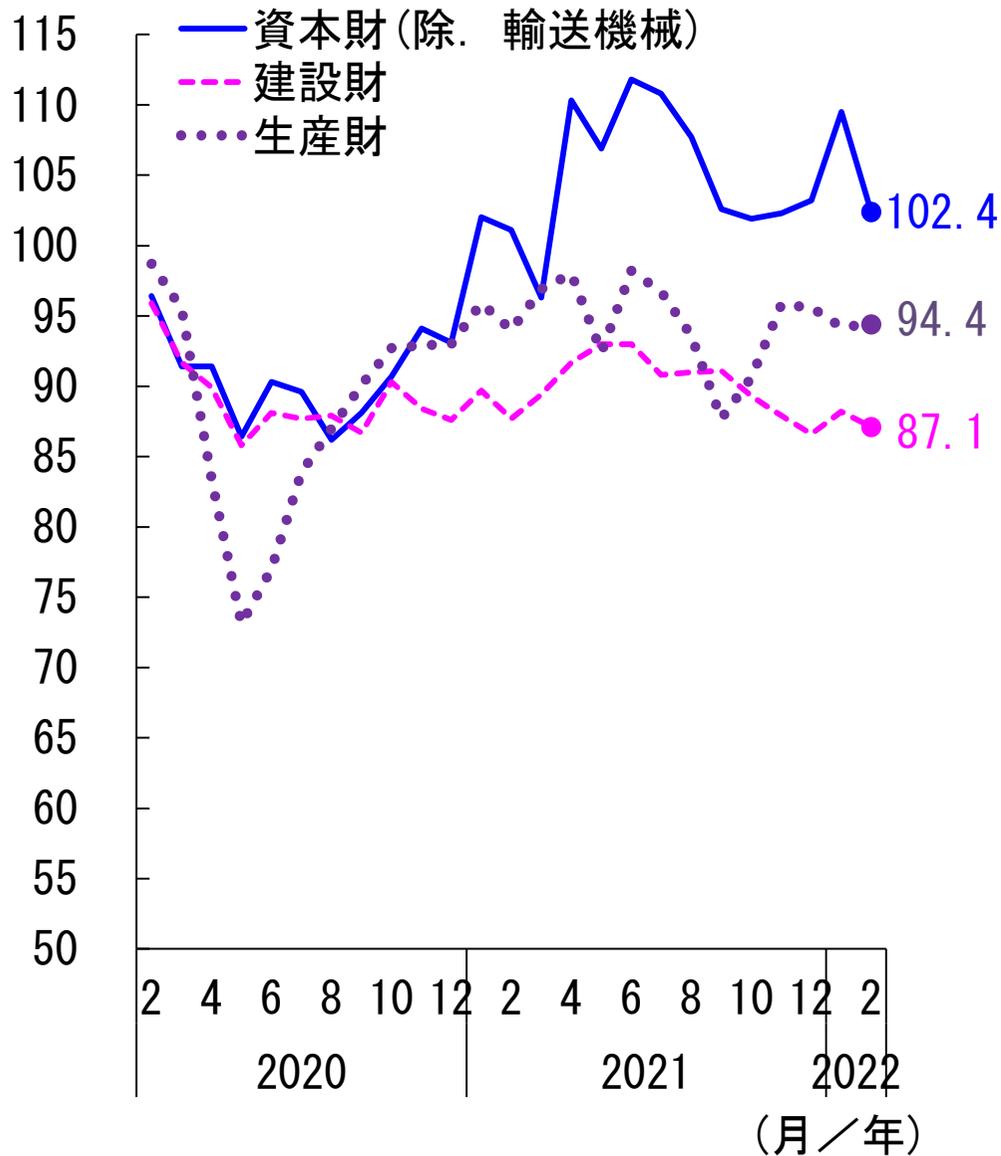
	解説	品目名	前月比	寄与度
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-6.5%	-0.87%pt
		金型	-22.9%	-0.10%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-25.2%	-0.08%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-3.2%	-0.53%pt
		仕上用化粧品	-26.3%	-0.06%pt
		ガソリン	-4.8%	-0.05%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.2%	-0.07%pt
		エレベータ	-16.5%	-0.04%pt
		橋りょう	-32.9%	-0.04%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.3%	0.11%pt
		普通乗用車	3.2%	0.15%pt
		小型乗用車	15.7%	0.15%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.2%	0.11%pt
		アクティブ型液晶パネル（中・小型）	70.1%	0.15%pt
		航空機用発動機部品	81.3%	0.14%pt

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
（記載から外す品目例）鉄道車両、製材 等

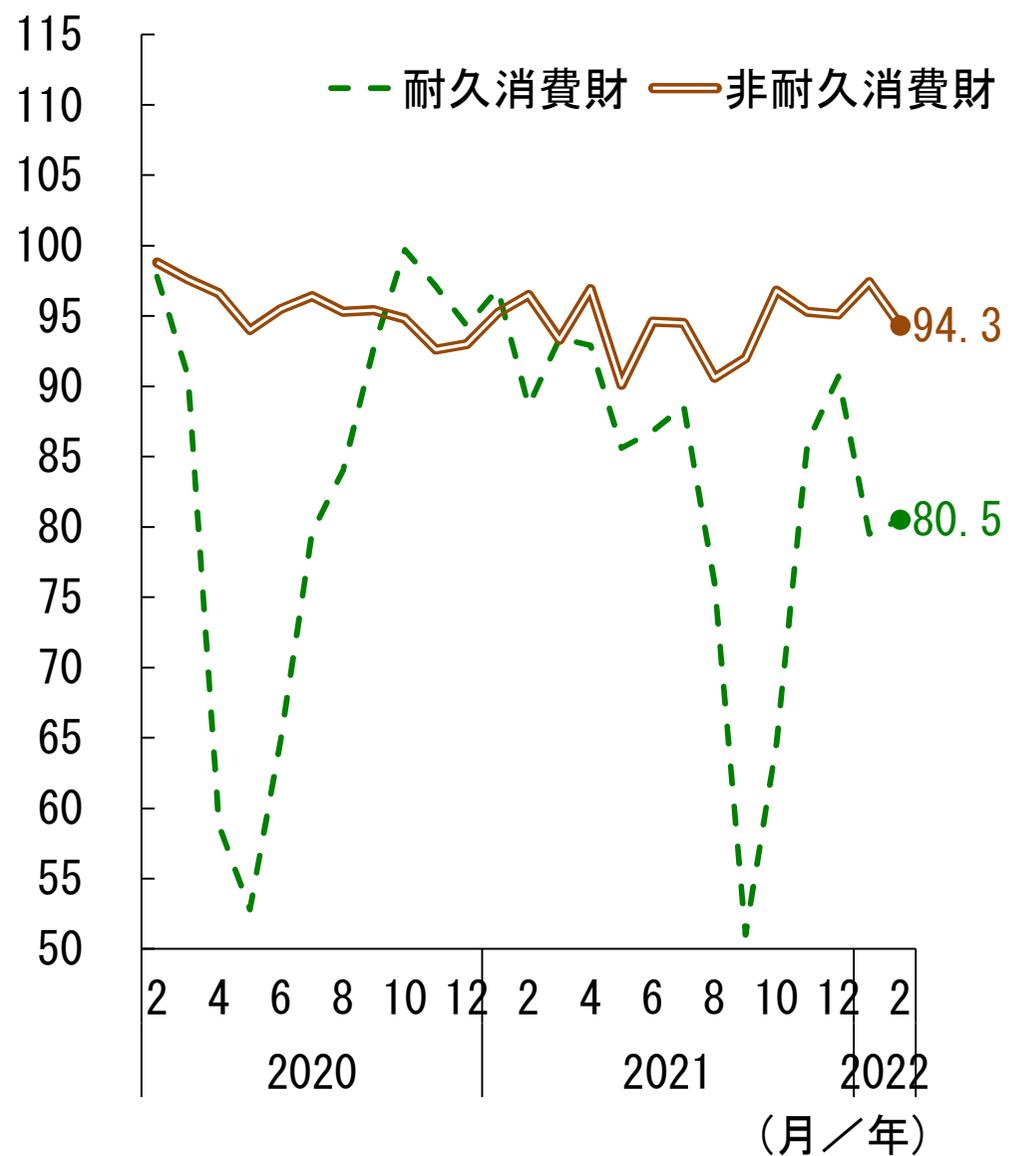
寄与度：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇品目と低下品目の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



(2015年=100、季節調整済)





# 2022年2月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2022年2月の鉱工業在庫指数は、101.3（前月比1.9%）と2か月ぶりの上昇。

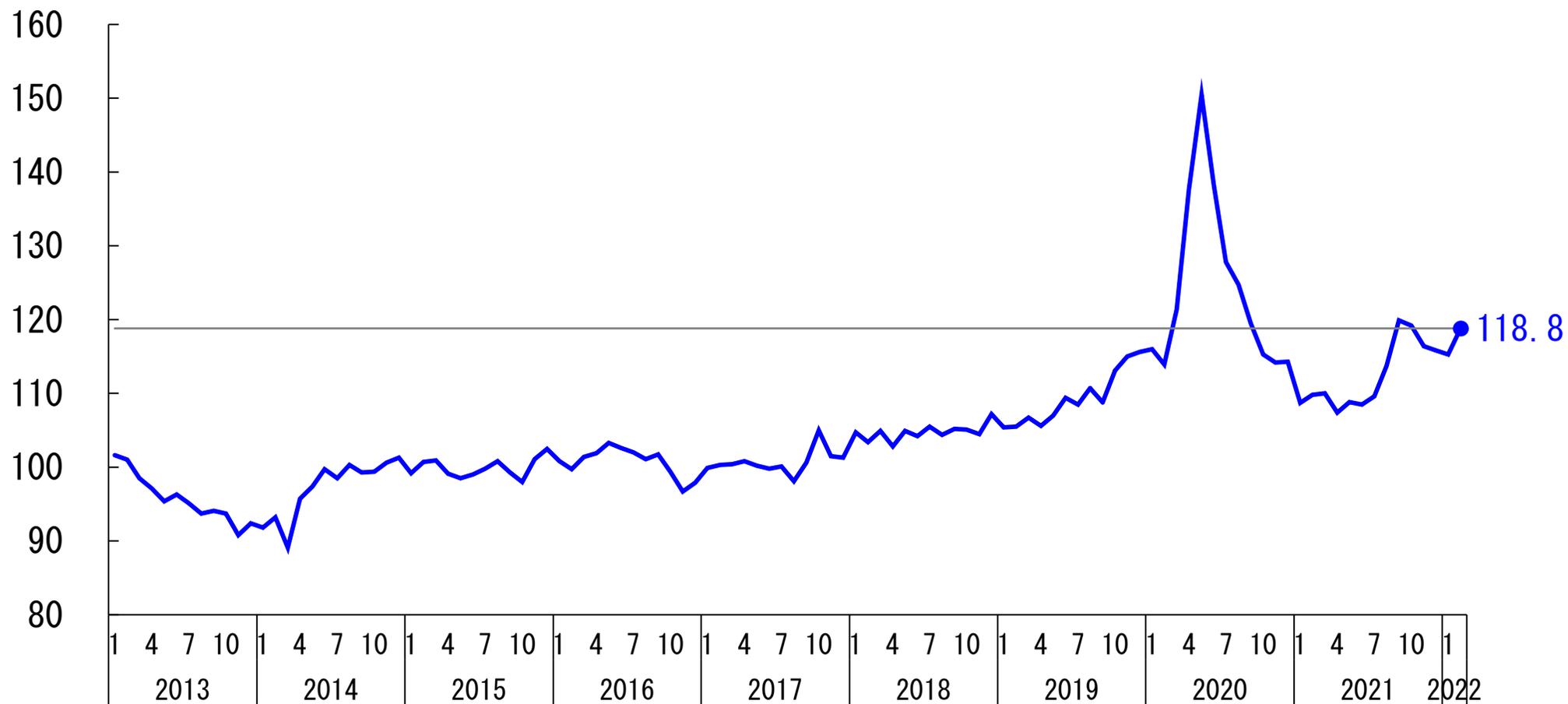
		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業在庫を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	21.2%	1.12%pt
	品目	普通トラック	25.4%	0.32%pt
		普通乗用車	7.3%	0.22%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	7.4%	0.46%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	61.3%	0.50%pt
		電気照明器具（除. 自動車用）	5.0%	0.04%pt
3位の業種	石油・石炭製品工業	5.1%	0.26%pt	
品目	軽油	20.4%	0.12%pt	
	ナフサ	10.9%	0.06%pt	
鉱工業在庫を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	-6.9%	-0.27%pt
	品目	アクティブ型液晶パネル（大型）	-21.1%	-0.17%pt
		アクティブ型液晶パネル（中・小型）	-18.5%	-0.09%pt
	2位の業種	無機・有機化学工業	-1.6%	-0.18%pt
	品目	ポリプロピレン	-6.2%	-0.09%pt
		パラキシレン	-34.7%	-0.08%pt
3位の業種	化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）	-1.9%	-0.15%pt	
品目	日焼け止め・日焼け用化粧品	-14.7%	-0.04%pt	
	合成洗剤	-15.4%	-0.04%pt	

寄与度：在庫全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 鋳工業在庫率指数の動向

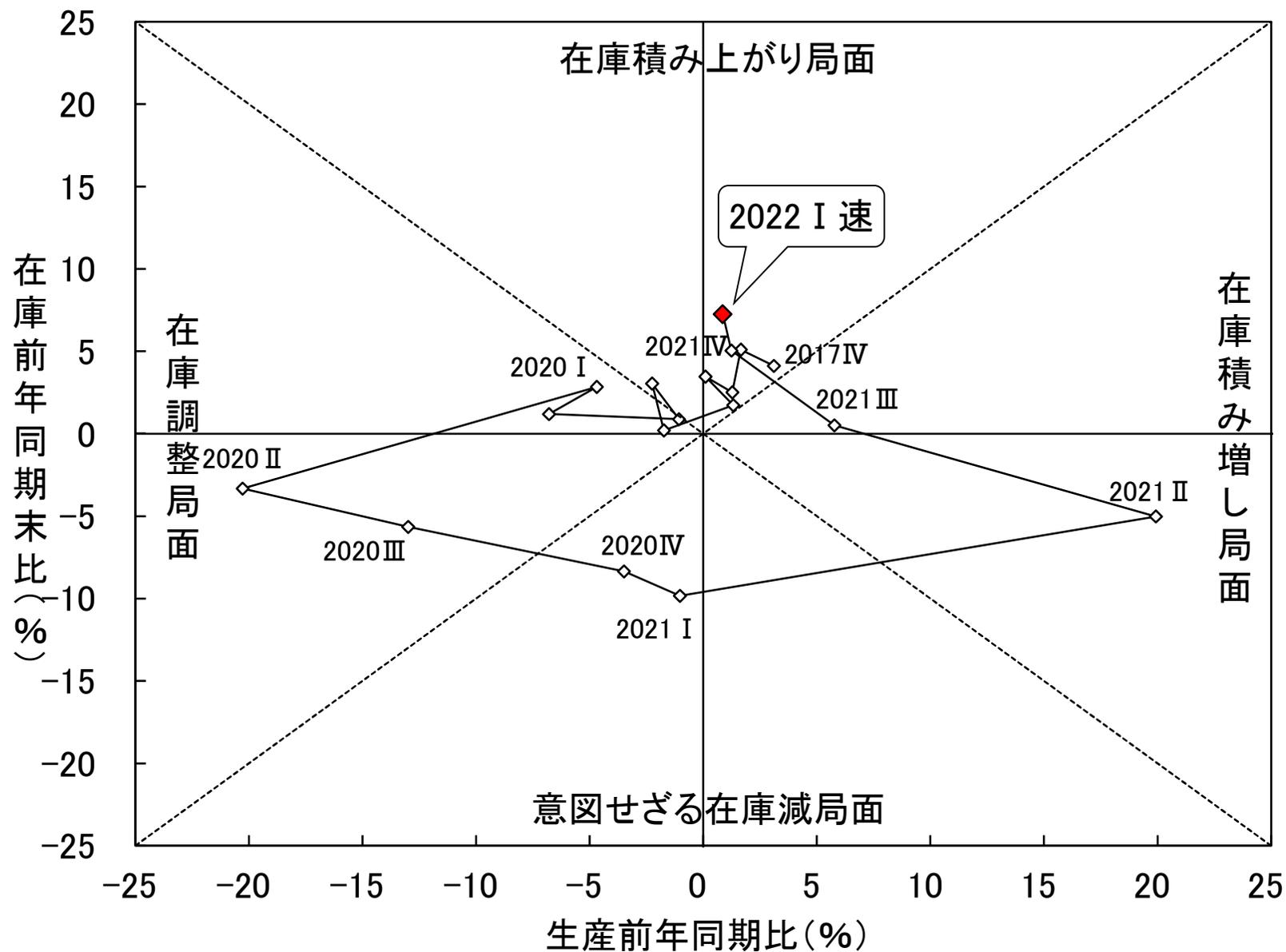
・ 2022年2月の鋳工業在庫率指数は、118.8(前月比3.0%)と5か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(月／年)

# 鋳工業の在庫循環図



(注) 「2022 I 速」の生産は12月、1月、2月の平均値、在庫は2月末の値を使用

# 製造工業生産予測指数 時系列

〈製造工業：Manufacturing〉

index, 2015 = 100

年 月	季節調整済指数			前月比			実現率 Realization Ratio	予測修正率 Amendmen t Ratio	原指数			前年同月比			(参考)原指数による		Year and Month	
	Seasonally Adjusted Index			%Change From Previous Month					Original Index			%Change From Previous Year			実現率 Realization Ratio	予測修正率 Amendment Ratio		
	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month				翌月見込み Next Month
2021 年	1月調査	96.6	102.6	103.5	▲ 0.5	6.2	0.9	▲ 0.8	0.7	99.9	97.2	100.2	▲ 0.6	0.2	3.9	▲ 0.8	0.6	Jan. 2021
	2月調査	98.8	102.3	97.5	2.3	3.5	▲ 4.7	▲ 3.7	▲ 1.2	93.6	99.0	111.0	▲ 3.5	2.7	5.0	▲ 3.7	▲ 1.2	Feb.
	3月調査	98.8	98.4	107.3	0.0	▲ 0.4	9.0	▲ 3.4	0.9	95.6	112.1	103.9	▲ 0.8	6.1	25.5	▲ 3.4	1.0	Mar.
	4月調査	98.9	107.2	102.6	0.1	8.4	▲ 4.3	0.5	▲ 0.1	112.6	103.8	94.3	6.5	25.4	35.3	0.4	▲ 0.1	Apr.
	5月調査	102.8	101.1	106.2	3.9	▲ 1.7	5.0	▲ 4.1	▲ 1.5	99.5	93.0	107.5	20.2	33.4	32.4	▲ 4.1	▲ 1.4	May
	6月調査	96.5	105.3	103.8	▲ 6.1	9.1	▲ 1.4	▲ 4.5	▲ 0.8	88.7	106.6	105.9	27.3	31.3	17.5	▲ 4.6	▲ 0.8	Jun.
	7月調査	103.6	102.5	104.2	7.4	▲ 1.1	1.7	▲ 1.6	▲ 1.3	104.8	104.6	96.2	29.1	16.1	18.9	▲ 1.7	▲ 1.2	Jul.
	8月調査	99.6	103.0	104.0	▲ 3.9	3.4	1.0	▲ 2.8	▲ 1.2	101.6	95.1	108.7	12.8	17.6	12.1	▲ 2.9	▲ 1.1	Aug.
	9月調査	97.3	97.5	104.1	▲ 2.3	0.2	6.8	▲ 5.5	▲ 6.3	89.9	101.9	104.7	11.1	5.1	7.4	▲ 5.5	▲ 6.3	Sep.
	10月調査	93.9	99.9	105.6	▲ 3.5	6.4	5.7	▲ 3.7	▲ 4.0	98.2	100.5	107.9	1.2	3.1	10.4	▲ 3.6	▲ 4.0	Oct.
	11月調査	94.4	102.9	105.1	0.5	9.0	2.1	▲ 5.5	▲ 2.6	95.0	105.2	108.7	▲ 2.6	7.7	8.8	▲ 5.5	▲ 2.5	Nov.
	12月調査	100.8	102.4	107.5	6.8	1.6	5.0	▲ 2.0	▲ 2.6	103.0	105.9	102.7	5.4	6.0	9.7	▲ 2.1	▲ 2.6	Dec.
2022 年	1月調査	99.7	104.9	107.2	▲ 1.1	5.2	2.2	▲ 2.6	▲ 2.4	103.1	100.2	103.8	3.2	7.1	8.6	▲ 2.6	▲ 2.4	Jan. 2022
	2月調査	97.9	103.5	103.6	▲ 1.8	5.7	0.1	▲ 6.7	▲ 3.5	93.5	100.2	117.1	▲ 0.1	4.8	4.0	▲ 6.7	▲ 3.5	Feb.
	3月調査	98.8	102.4	112.2	0.9	3.6	9.6	▲ 4.5	▲ 1.2	95.6	115.7	107.0	0.0	2.8	7.5	▲ 4.6	▲ 1.2	Mar.

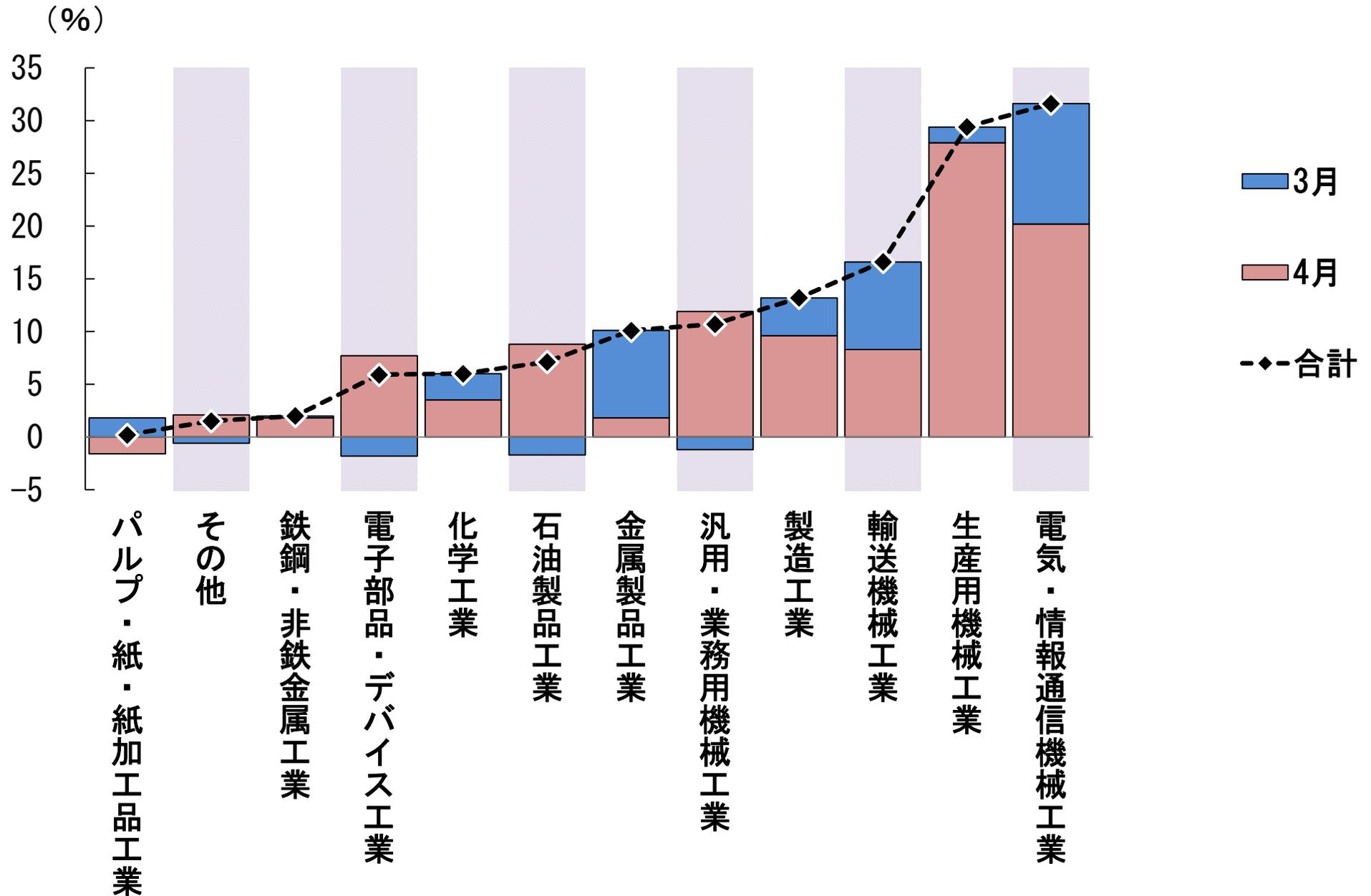
## 製造工業生産予測指数（当月、翌月の生産伸び率）

	2月調査 (前回)		3月調査 (今回)	3月調査 補正值
3月見込み	0.1%	⇒	3.6%	1.1% (-0.9%~3.1%)
4月見込み	—		9.6%	—

### (参考) 前回調査の結果

	2月予測調査	2月補正值	実際の結果
			鉱工業生産指数
2月前月比	5.7%	0.7% (-1.3%~2.7%)	0.1%

## 2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



## 2022年3月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	8.3%
電気・情報通信機械工業	11.4%
金属製品工業	8.3%
化学工業	2.5%
生産用機械工業	1.5%
パルプ・紙・紙加工品工業	1.8%
鉄鋼・非鉄金属工業	0.2%

低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-1.7%
その他	-0.6%
汎用・業務用機械工業	-1.2%
電子部品・デバイス工業	-1.8%

(注) 低下寄与業種の並びは、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きい

## 2022年4月生産計画の寄与順位表

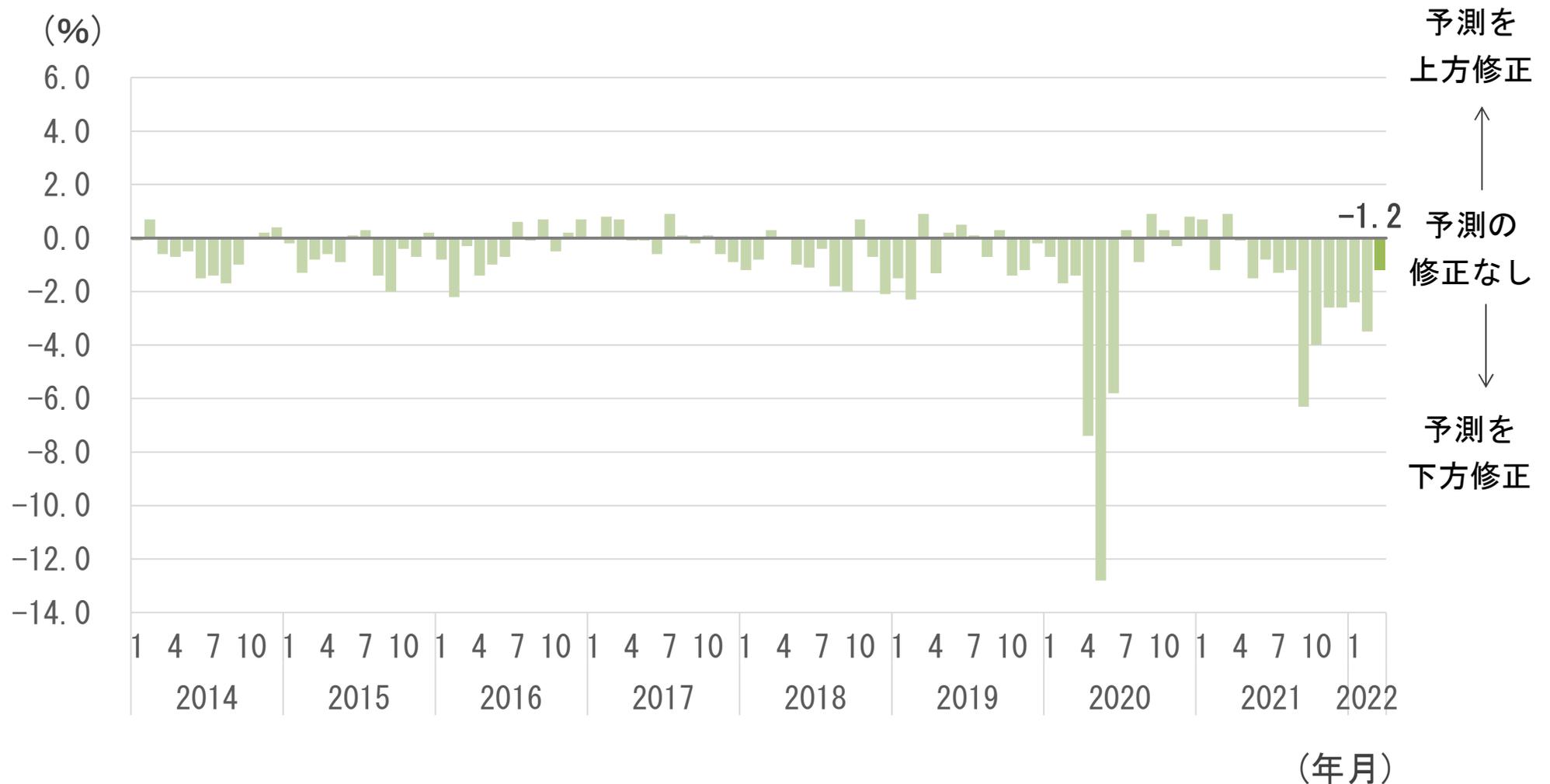
上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	27.9%
電気・情報通信機械工業	20.2%
輸送機械工業	8.3%
汎用・業務用機械工業	11.9%
電子部品・デバイス工業	7.7%
化学工業	3.5%
その他	2.1%

上昇寄与業種	計画前月比
石油製品工業	8.8%
鉄鋼・非鉄金属工業	1.8%
金属製品工業	1.8%
低下寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	-1.6%

(注) 低下寄与業種の並びは、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きい

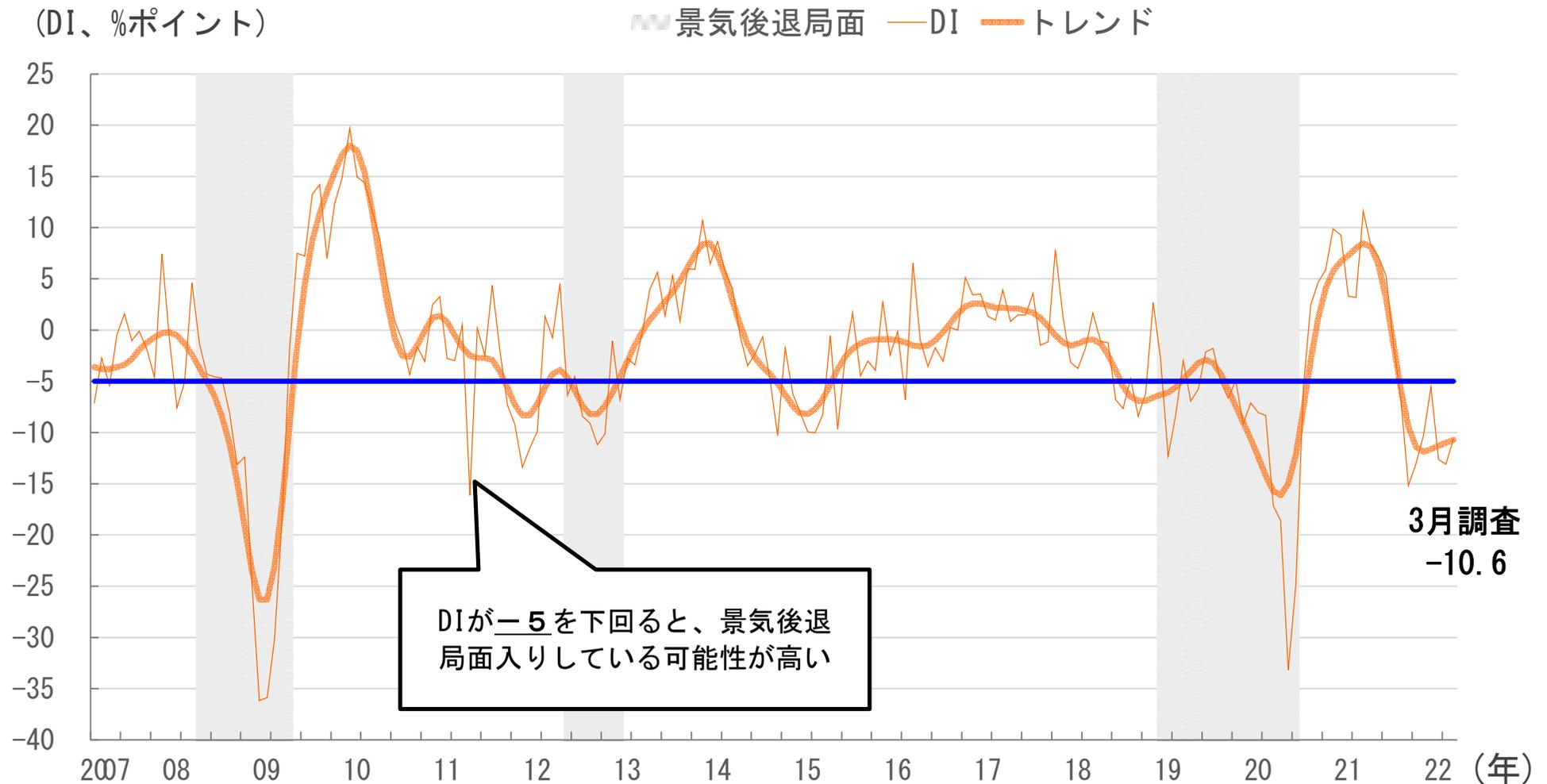
# 予測修正率の推移

- ・ 当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
- ・ 今回の調査では、予測修正率は-1.2%と低下になり、生産計画は12か月連続の下方修正となった。



# 企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（DI））

- ・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（DI）化。
- ・DIのトレンドが-5を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。
- ・3月調査結果のDIは、-10.6（前月の-13.1から上昇）。トレンドは-10.7と-5を下回る水準。



# 強気と弱気の比率の変化

・3月調査結果のDIの内訳をみると、強気が23.4%、弱気が34.0%となっている。2月と比べて強気の割合は増加し、弱気の割合は減少した。

